

にしお 市議会だより

～あなたの気づきが明日のNISHIOをつくる～

2026
5 月号

No.162

〔編集・発行〕
西尾市議会
〒445-8501
愛知県西尾市寄住町下田22
TEL:0563-65-2182(直通)

議会報告会

令和8年3月定例会での議案審査状況の報告を行います

2026年
開催日 5/9 土

会場 西尾市役所
5階51会議室
時間 13:30 ▶ 15:00
(受付開始 13:00)



参加無料
どなたでも
参加できます



Zoom による視聴もできます。定員 100 名



3月定例会を2月20日から3月23日まで32日間の会期で開催しました。

2月20日に市長が施政方針演説を行い、24日には、会派を代表して2人の議員が施政方針演説に対して代表質問をしました。

2月25日、26日、27日には、18人の議員が市政について一般質問をしました。

3月2日には、令和8年度当初予算が議案上程され、審議されました。

CONTENTS

代表質問……………	2、3	審議結果……………	14、15
一般質問……………	4～12	編集室……………	15
予算審査……………	13	お知らせ……………	16

にしお市議会だよりは
西尾市議会のホームページ
でも見るすることができます。



代表質問 Q & A



みらい創政会

本郷 照代 議員



詳細はスマホで
チェック!



施政方針の概要

Q 令和8年度の予算編成について「市政運営」から「市政経営」の観点から、事業の精査と歳出の削減に努めたとのことだが、前年度との違いのポイントと今後の考えはどのようなか。

A 「枠配分方式」を導入し、各部局において聖域にとらわれず、徹底した事業の精査を行い、歳出の削減に取り組むとともに、歳入を適切に見込むことで、正確に財政状況を把握し、財政調整基金の取崩し額の抑制に努めた。

新たな魅力に挑戦するまち

Q 一色さかな広場を中心としたベイエリアの活性化について、エリア内にある県有地をどう利活用するか。

A 令和8年度をめぐりに「西尾南部ベイエリア協議会」が主体となり、県有地を主要なフィールドとして、海や漁港の多面的な価値を活用した「海業（うみぎょう）」を導入する。漁業体験、海洋レジャー、新鮮な水産物を提供する水産食堂など、一色漁港エリアが持つ潜在能力を最大限に引き出す取組を検討する。

ともに楽しみ、ともに学び、ともに夢みるまち

Q 子どもの多様な居場所づくりとして、中高生の居場所を創出するとのことだが、内容と期待するものは何か。

A 既存の児童館を活用し、平日の午後5時以降に中高生が「自分たちの居場所」として自由に活用できる空間を提供する。静かに学習する場ではなく、自分たちが主体的に企画・実行する活動の場を目指す。家庭や学校以外

の「第三の居場所」として、安心して自己表現できる場となることを期待している。

健康をつなげ、幸せがつながるまち

Q 重層的支援体制整備事業における本市の特色と課題は何か。

A 特色は3点ある。①縦割りの壁を打破するため、官民連携の窓口「つなサポ」を開設し、今ある相談窓口と「断らない相談支援」を目指す。②大人のひきこもり支援や居住支援など多様な支援の受け皿をつくる。③関係性の密度により区分した4階層のワーキングチームを設ける。課題は、既存窓口の「断らない窓口」への移行やアウトリーチによる支援が必要な人の把握と捉えている。



Q 新病院の建設や経営形態の在り方は。

A 経営形態については、近隣病院の動向や診療報酬改定を注視し、令和8年度中に見直しの方向性を決定、おおむね3年後をめぐりに経営形態の見直しを進めたい。新病院の建設についても、見直しのめどがついた後、しかるべき時期に工程表を作成し、可能な限り早い時期の着手を目指す。

いのちを守る、暮らしを守る、環境を守るまち

Q 空き家問題解決のため、専門事業者を公募・登録する制度の運用はどのようなか。

A 行政では特定の業者紹介は難しいので、多様な事業者を広く募集しリスト化する。このリストから相談内容に応じた適切な業者とマッチングを図り、令和8年度中の開始を目指し、問題解決の一助とする。

代表質問 Q & A



新しい風

松崎 隆治 議員



詳細はスマホで
チェック!



財政運営について

Q 令和8年度予算編成について、枠配分方式を採用したが、どのような効果があったと考えているのか。

A 枠配分額を一般財源ベースにしたことで、歳出を単に削減するだけでなく、歳入の確保に対する意識も高まり、総予算額が増加したにも関わらず、一般財源額を減らすことができた。

Q 枠配分方式の課題をどう捉えているか。

A 義務的経費などの予算を別枠で確保したが、法定の社会保障費などの事務で、想定を大きく上回る伸びがあったことなどがあつた。次年度以降は、実績を踏まえて枠配分額の妥当性を精査して、良い制度にしていく。

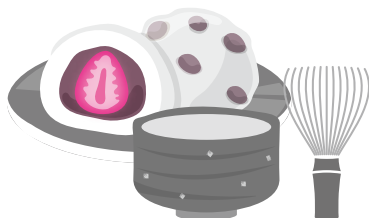
新たな魅力に挑戦するまちについて

Q 中日ドラゴンズの2軍本拠地移転について、中日ドラゴンズが本市に来ることの最大のメリットはどこと考えているか。また、中日ドラゴンズにとってのメリットは。

A スポーツによる地域全体の盛り上がりと名鉄西尾・蒲郡線の利用促進などによる経済波及効果と考えている。球団がどのようなことを期待しているかなどをよく分析して、本市ならでの提案をまとめていく。

Q 新規事業として、西尾抹茶とともに親しまれる和菓子や三河一色えびせんべい、三河一色うなぎのブランド価値を高め消費拡大を

図るとのことだが、
どのような狙いがあるのか。



A 市民をターゲットとし、地域の愛着と誇りの醸成と地域経済の活性化に寄与していく。

ともに楽しみ、ともに学び、ともに夢みるまちについて

Q 学校体育館の空調整備について、今後の進め方はどのようなか。

A 令和10年度までに全小中学校で整備完了を目標に計画を進める。

健康をつなげ、幸せがつながるまちについて

Q 西尾市民病院について、新病院の建設や経営形態の在り方について、どのような体制で取り組む予定か。

A 令和8年度中に検討会を組織し、3年後をめどに経営形態の見直し、新病院の建設については財政状況などを踏まえ、しかるべき時期に着手していく。

Q 中等度の加齢性難聴者への補聴器購入に係る一部助成について、具体的にどのような補聴器を助成対象とするのか。

A 厚生労働省が定めた基準を満たした管理医療機器認証を受けたものを予定している。

誰もがキラキラと輝き、誇り・愛着の持てるまちについて

Q ふるさと納税はリピーターの定着はもちろんのこと、新たな寄附者の掘り起こしも重要と考える。新たな返礼品や販路拡大について、具体的な方策をどのように考えているのか。また、寄附の使い道について、寄附時に魅力ある提案が分かるようにできないか。

A 寄附者の多様なニーズに対して事業者と連携し、新たな返礼品の開発をし、販路拡大を図る。また、具体的な事業を提案し共感していただいた方に寄附してもらうクラウドファンディング型ふるさと納税を導入する予定である。

一般質問 Q & A

みらい創政会

中村 なおゆき 議員



詳細はスマホで
チェック!



西尾市民病院の持続可能な経営と資金繰りの安全性について

Q 12月末時点の8億円の一時借入金の目的は何か。営業収益で賄うべき経常経費に対し、なぜこれほど多額の借入が必要だったのか。

A 賞与支払いに不足はなかったが、年度末の外壁工事等による運転資金不足を見越して借入れを実施した。

Q 令和6年度末の現金預金19億5千万円を踏まえ、現在の自己資金額と、運転資金の何カ月分に当たるか。

A 令和7年12月末時点の自己資金は10億2千万円（一時借入金8億円控除後）で、月平均経常経費約7億7千万

円に対し、約1.3カ月分の運転資金を確保している。

Q 医師の大量退職、医療事故による訴訟、設備の緊急更新など、予期しない費用が必要となった場合、即座に対応できる財政余力はあるか。

A 財政余力はなく、一時借入れを実施中である。あくまで仮定だが、現状が続けば、令和9年度中に運転資金が枯渇する可能性が非常に高いと言える。

Q このまま危機が現実化するのを見守るのではなく、経営のプロに権限と責任を委譲し、再生への活路を開く覚悟はあるか。

A どの経営形態が一番いいのかということを最重要に考えながら、しっかりと強い決意で取り組んでいきたい。



その他の質問

・人と動物が共生する社会の実現について

新しい風

渡辺 将司 議員



詳細はスマホで
チェック!



市街化調整区域の土地利用に向けて

Q 市街化調整区域の人口推移、空き家の状況、農地の利用実態は。

A 開発抑制区域のため人口は増えにくい傾向であり、空き家は今後さらに増加する見込みである。農地は多くが効率的に利用されている一方、条件の悪い農地では耕作放棄地も発生している。

Q 空き家除却促進のための補助制度の拡充は。

A 現在、昭和56年以前の本造住宅除却に対し上限20万円の補助制度があるが、解体費用の高騰を踏まえ、令和8年度に上限額を引き上げる。

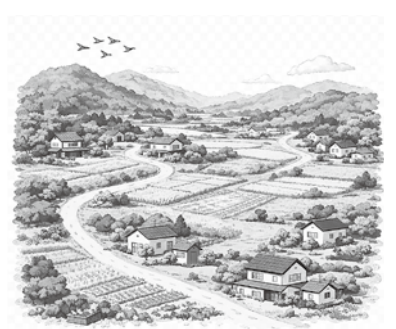
Q コンパクトシティ政策における幡豆地区の位置づけ

は。また、市街化調整区域にある既存集落についての考えは。

A 幡豆地区では、駅周辺の市街化区域を中心に居住を誘導し、コンパクトなまちづくりを進める。調整区域の既存集落は、地域の特性を踏まえ、インフラの維持、コミュニティや自然環境の保全を行いながら維持する必要がある。

Q 市街化調整区域の土地利用の方向性は。

A このままの運用では、集落の衰退、空き家の増加、若い世代の流出、地域コミュニティの維持が困難になるといったマイナス面が生じる可能性も考えられる。都市計画法の基本的な趣旨を堅持しつつ、定住促進や地域コミュニティ維持に向け、都市計画法第34条第11号や優良田園住宅認定制度などの活用について、調査研究を進め、本市に最適な方法を探る。



一般質問 Q & A



無所属

岩下 一隆 議員

詳細はスマホで
チェック!

空き家等対策の取組と利活用促進について

Q 最新の空き家、特定空家、管理不全空家の把握状況は。

A 空き家等対策計画の策定に伴う実態調査を実施していないため、市内全域の空き家総数は把握していない。しかし、平成 26 年度より町内会の協力を得て、「地域に影響のある危険な空家など」として件数の把握に努め、これまでに 561 件の情報が寄せられた。除却や賃貸借等の対応済みであったもの等を除く、331 件について、通知文の送付などの対応を継続して進めている。

Q 令和 5 年度の空家等対策特別措置法改正を踏まえ、どのような運用方針を考えているか。

A 令和 8 年度に市内全域の空家等実態調査を実施し、市内の空き家等の総数や意向を統計的に把握していく予定である。その後、令和 9 年度には空家等対策計画を策定し、本市としての空家等対策の体系を整備していく考えである。

Q 空き家を地域資源として活用するため、民間との協働によるモデル事業を検討しているか。

A 特定の「モデル事業」として検討を進めるとい段階ではないが、空き家を地域資源と捉え、その有効活用を図ることは、重要な政策課題と認識している。



空き家利活用



リノベーション

その他の質問

- ・市内企業の S B T 認定取得の現状は。
- ・ S B T 認定取得を目指す企業に対する、具体的な施策は。



無所属

ささき えみ 議員

詳細はスマホで
チェック!

ハコモノから生活・交通インフラへの予算配分変更を

Q 橋梁、トンネル、水道管の老朽化はどうか。

A 老朽化目安 50 年を経過している橋梁は 72.6%、トンネルはない。水道管は 27.8% で増加状況である。

Q 必要性も経済効果もより高いインフラ整備にシフトしていくべきだと考えるがどうか。

A 公共施設については保有総量の削減目標を 15% と定め、インフラについては新設と更新のバランスをとりながらサービスの提供を維持していく。

児童館の利用促進について

Q 音楽活動や絵画など趣味を満喫できるような場所が欲しいという意見は「こども会議」で出ているか。

A 出していないが、生の声を取り入れていく。

Q 子どもたちが自発性を育てるために、自ら遊びを企画するような機会の提供をしないか。

A 自発性が育つきっかけづくりができるように取り組んでいきたい。

親子のための共育推進を

Q 親学への考えはどのようなか。

A 常に子どもと向き合い、その子に合った方法を見つけることが大切であり、同時に、子育ては親が成長する機会でもある。市としては、関係機関と連携し、相談窓口の周知を図るとともに、子育ての喜びが実感できるような取組が必要と考える。



一般質問 Q & A

公明党西尾市議団

大塚 久美子 議員



詳細はスマホで
チェック!



日中一時支援の安定的継続と障がい者の才能発揮・社会参加を

Q グループホーム入所後に日中一時支援の利用を可能とすることを検討しないか。

A 検討する考えはない。

Q 事業所運営の実態を踏まえた委託料補助単価の見直しや、運営実態調査の実施を検討する考えはないか。

A 現時点において見直しする予定はない。ただし、事業所の運営実態については、支援現場の課題を把握するために調査を検討する。

高齢者が安心して最期を迎えられる死後事務支援に向けて

Q 死後事務支援（エンディングサポート）が「亡くなった後の支援」ととどまるのではなく、「生きている間の孤立防止支援」として機能するために、どのような発展を目指しているのか、市のビジョンを伺う。

A 終活に対する相談内容によっては、死後事務支援以外に抱えている暮らしの困りごとに対する必要なサービスにつながる場合もある。



切れ目のない子育て支援と家庭の多様な困難に寄り添う支援体制を

Q 国は発達の遅れが心配される子どもへの対応のため新たに5歳児健診を推奨しているが、市の考えはどのようなか。

A 近年では、発達に不安を抱える子どもが増えていることもあり、5歳児健診の必要性は高いと考える。令和9年4月実施に向け、検討を重ねている状況である。

れいわ新選組西尾

山市 志保 議員



詳細はスマホで
チェック!



社会全体で支える子育て支援へ

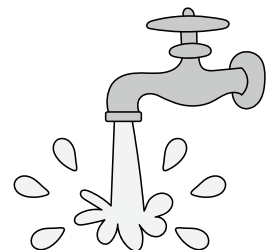
Q 事故発生時に当事者間での解決を基本とする現行制度は責任の所在が不明確なままであり、依頼会員に大きな負担を生じさせているが、課題として認識しているか。

A ファミリー・サポート・センター事業の会員間で行う相互援助活動は、援助会員と依頼会員との準委任契約に基づくものであり、活動中に生じた事故は、当事者である会員相互間において解決することとなっている。しかし、けがや事故などの発生時には、不安感も大きいと推察するので、事故対応の訓練や事故防止等の知識習得が必要であると考えます。

水道事業の官民連携と財政運営の妥当性について

Q 令和4年度から令和6年度までの実績値と計画値の当期純利益には、3年間で約5億9,450万円もの乖離が生じている。この状況を踏まえ、昨年10月に実施した値上げは妥当な判断だったのか。

A 純利益は過去3年で上振れが見られるが、内部留保資金は令和6年度、建設改良費の増加に伴い、建設改良費積立金の取崩しが増加した影響などにより、前年度から2億8千万円程減少している。令和7年度以降、重要管路耐震化事業を中心として事業推進を加速化させる計画をしており、その値上げは妥当であったと考える。また、継続的に事業を実施するためには、将来的にはさらなる値上げが必要と見込んでいる。



一般質問 Q & A

新しい風

小林 孝幸 議員

詳細はスマホで
チェック!

第4回にしおマラソンについて

Q 経済波及効果の算出根拠は何か。

A ランナーと観覧者へのアンケートから得た平均消費額に人数を掛け合わせ、実行委員会の支出額を加えた上で、愛知県の産業連関表分析ツールを使用して推計している。速報値では、市内消費額が約1億4千万円、経済波及効果は約4億2,500万円である。

Q 本大会の収支の状況は。

A 今年度の事業費が確定しておらず、いずれも概算金額となるが、収入についてはエントリー料等9,300万円、協賛金等4,500万円、市からの補助金1億2千万円の合計2億5,800万円。支出は事業者への委託料2億4,800

万円、消費税その他300万円の合計2億5,100万円となり、残額については市に戻入する。

Q 令和8年度当初予算で、市からの補助金が2千万円減額された理由は。

A 物価高騰で事業費が上がる傾向にあるが、市の財政負担も大きいため、減額して実施する方針とした。不足分は事業内容の精査、エントリー料の引上げ、協賛金の増加で対応する。

Q 愛知こどもの国をスタートかゴールに設定する考えはないか。

A 現在のコースは大幅な改善を経てランナーの評判も良かったため、当面は大きく変更する考えはない。ただし、名鉄西尾・蒲郡線の利用促進に大きな効果があるため、将来コース変更が必要になった際には、愛知こどもの国を含め、検討材料とする。



新しい風

牧 一心 議員

詳細はスマホで
チェック!

インフラの老朽化と資材高騰に立ち向かう発注方式の刷新に向けて

Q 従来の公設公営という枠組みを超え、行財政への負担を軽減できるような事業手法を、ハード整備の選択肢として採用しないか。

A 公民連携により、民間のノウハウや創意工夫を生かすことで、事業の効率化によるコスト削



減、利用者増加に伴う税収増、さらには市民サービスの向上につながる。施設の状態に合った手法を選択したい。

Q 公民連携等の手法を導入する際、地元企業にとってはノウハウや資金調達の実績不足が参入障壁となりやすい。しかし、地域経済の活性化のためには、地元企業が主体的な役割を担うことが望ましい。地元企業が新しい手法に参入していくための方法は。

A 意見交換会の中で公民連携の手法に関する情報提供を行い、地元建設事業者の参入を徐々に増やしていきたい。

Q 一定額以上のハード整備事業については、予算要求前に必ず公民連携（PPP）導入の可能性を検討する「優先検討のルール化」を制定しないか。

A 過去のPFI事業見直しによる後処理もあり、策定を見送ってきたが、国の指針に従い、優先的検討規定を設けることは問題ない。

Q 公民連携等の専門的ノウハウ習得に特化した人的投資は現状どれだけ行われているのか。

A 都市の経営課題を解決する人材育成を目的に、プロフェッショナルスクール株式会社が実施する公民連携事業過程に職員を参加させる予定である。

一般質問 Q & A

公明党西尾市議団

山本 栄児 議員



詳細はスマホで
チェック!



市民協働により支えられるにしおマラソンの運営体制について

Q ボランティアの運営体制について本市の役割は。

A 市職員を担当場所にリーダーとして配置し、ボランティア等を総括する役割を担っている。

Q 現場状況をどのように把握しているか。

A 随時、問題点などを大会本部に報告する体制を構築している。

Q 持続可能な大会運営に向け、今後の方向性について伺う。

A 開催費用の縮減に努めるとともに、沿道市民やボランティアなど多くの意見を真摯に受け止め改善を図る。

単眼視(片目失明)の方に対する本市の認識と支援の在り方は

Q 単眼視の方が日常生活で抱える困難について、どのように認識しているか。

A 見え方に制限があり、日常生活などに影響を及ぼす場合があると認識している。職業選択、資格取得に制限があるなどの社会生活上の困難、見える目も将来的に視力を失うかもしれないとした不安など、心理的な困りごとを抱える場合もあると思われる。



Q 単眼視の方に対する今後の支援の在り方について伺う。

A 視覚障害者に対し、等級や状態に応じて日常生活用具の給付、交通費や医療費の助成制度、ホームヘルプサービスなどを紹介している。今後も、困りごとに寄り添い適切な支援につなげる。

日本共産党西尾市議団

前田 修 議員



詳細はスマホで
チェック!



予算編成において市民への影響は

Q 市民サービスに直接影響が出るような予算の削減をした事業はなにか。

A 婚姻支援事業の廃止、開庁時間の短縮、障害者扶助料の見直し、敬老祝金の減、町内会工事要望の実施の減などである。

Q 予防接種・人間ドック・がん検診等自己負担の増、スポーツ教室受講料の増、コミュニティ補助減などもある。削減にあたっては関係者に説明し合意を得たか。

A 可能な限り各部局において、関係者への説明を行っている。

Q シルバー人材センターの会員から「除草作業が大幅に削減される」との話を聞いたが。

A 公園や道路の除草作業の一部の委託を取りやめた。

Q 公園緑地課の公園で300万円、スポーツ振興課の公園・グラウンドで700万円、計1千万円も削減されるようである。シルバー人材センターは納得しているのか。

A 職員による草刈り班を増やし機動的にやっていくため、シルバーの予算を直営の人員費に充てることにした。この件についてシルバー人材センターに紹介はした。意見は伺っている。

Q 高齢者の仕事をとってしまうようなやり方は納得されないと思う。シルバー人材センターができないところを市の職員が行うことにしたらどうか。高齢者の生きがいや健康づくりをカットして市の職員が行う必要はないと思うがどうか。

A 人員費の方が高くなるが、市民の要求に応えられることになる。



一般質問 Q & A

減税日本にしお

くろの 拓海 議員

詳細はスマホで
チェック!

将来の西尾市について

Q 人口減少に対し増加対策を考えていかなければいけないと思うが、具体的な内容やターゲットは検討しているか。

A 転入による社会増を重要な課題と認識し、特に「西尾市出身の若者」及び「子育て世代」を主なターゲットとして考えている。

Q 人口減少による歳入の減少をどのように予測しているか。

A 地域経済状況、国・県の施策及び市の施策の状況など各種要因を予想し、分析することが必要となるため、非

常に困難である。仮に個人市民税で現状のままの税制度であると予想すると2025年の約112億円から10年後の2035年には約108億円となり4億円減少する。

Q 将来にわたり発生する公共施設の維持管理費などの固定費をどのように予測しているか。

A 令和6年度の公共施設の維持管理費は、歳出額の総額から歳入額を差し引きすると約121億円。具体的な将来予測は行っていないが、現在の公共施設を維持し、同程度の維持管理費が継続した場合、市民一人当たりの負担が増加するため、公共施設の再配置を進めていくことが必要であると認識している。



Q 公共施設マネジメントシステムの進捗はどのようなか。

A 今年度中には、コストや利用状況等を記載した施設ごとのデータを、市ホームページに公表する予定である。

参政党西尾

神田 たかひろ 議員

詳細はスマホで
チェック!

子どもたちの未来を育む学校給食における食育のあり方について

Q 現在の栄養教諭の配置人数はどのようなか。

A 自校方式 21 校に 12 名、センター方式 1 施設に 2 名の計 14 名が配置されている。

Q 自校方式の学校を全てセンター方式とした場合の栄養教諭の配置人数はどのようなか。

A 佐久島しおさい学校を除く、自校方式の調理場の



全てを「センター方式」にすると仮定した場合、学校給食運営協議会からの答申のコスト比較の試算で用いられた5千食規模、6千食規模の給食センター2施設を新たに設置し、計3つの給食センターと仮定した場合、現在の国の基準では3つの給食センターで計6人の栄養教諭が配置される。

Q 全センター化した場合、6名の栄養教諭が全34校の食育指導を行うとして、栄養教諭1名が5校以上の兼務となるのか。



A 栄養教諭によっては5校以上の学校を担当する場合がある。

Q 令和8年度に、自校方式の児童の保護者を対象として、「説明会」及び「給食センター見学会・試食会」を開催予定とのことだが、市民が誰でも参加できる形にしないか。


A 市民であれば誰でも参加できる形にすることは考えていないが、一般の方は、パブリックコメントや、希望の方は令和8年11月に開催予定の見学会・試食会へ応募が可能である。

一般質問 Q & A

新しい風
牧 博之 議員

詳細はスマホで
チェック!



地元農業の課題と未来について

Q 生産者にとって農業用水の供給は命綱になるが、市としてその意義についてどのように考えているか。

A 農業用水の安定供給は、食料自給率向上と、持続可能な農業を実現するために不可欠な要素だ。これらを持続可能なものにするには、行政だけでなく農業者、関係機関、地域住民が一体となり、そして地道に情報共有を図りながら解決策を模索していく必要がある。

Q JA西三河が現在建設中の総合集出荷場がもたらすメリットについて、どう捉えているか。

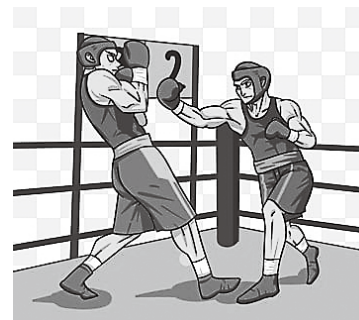
A 物流の効率化が図られ、生産者の負担軽減につなが

るとともに、販売力の強化に大きく寄与するものと期待している。加えて、見学コースの設置が予定されており、農業への理解を深め、食育や新たな担い手の確保につながる重要な機会となるものと認識している。



吉良温泉エリアの活性化について

Q 宿泊施設の厳しい現状に対して今後支援策は考えないか。


A 国の交付金を活用して宿泊費用の一部を補助することや、環境整備にかかる経費の一部を補助することを考えている。第20回アジア・アジアパラ競技大会に向けて、スポーツ振興と観光振興の地域活性化のチャンスと捉えている。



新しい風
福西 あきひと 議員

詳細はスマホで
チェック!



次世代へつなぐ平和の記憶と 遺族会の存続について

Q 戦後80年を迎え、戦争の記憶の風化に対する本市の認識はどのようなか。

A 戦争の悲惨な経験について、その記憶が時間の経過とともに薄れることなく、後世へ確実に伝えていくことは、戦争を二度と起こさない、巻き込まれないとした平和の尊さをつなげていくために、大切なことであると認識している。



Q 本市の遺族会会員数の推移はどのようなか。

A 令和4年度は615名から7年度は413名と、3年間で3割以上減少している。市としては、戦没者への敬意を忘れることなく、遺族会の運営に対する支援を継続していくつもりである。

Q 遺族会での維持管理が困難になりつつある慰霊碑や社などについて、市の認識は。

A 遺族の高齢化に伴い、忠魂社などの維持管理が困難になりつつあることは把握している。また、慰霊碑などの施設で市有地の上に設置されているものは、財産管理担当である資産経営局が把握しているものとして7件ある。

Q 遺族会による語り部、また保有する貴重な写真や遺品などの資料をデジタルアーカイブ化することを検討しないか。

A 語り部の話をデジタルアーカイブ化していくことを、三河地震の体験者座談会の様子を撮影した取組を参考に検討していく。

一般質問 Q & A

みらい創政会

藤田 秀徳 議員



詳細はスマホで
チェック!



農業振興と新規就農者支援・移住定住促進

Q 新規就農を希望する方々に対し、相談体制や研修制度、農地の確保支援、資金面での支援策は。

A 状況に応じて農地の確保や資金計画などに関する個別相談に応じている。研修事業に対し、補助金等の支援をし、国や県の各種補助金活用の調整や申請受付、実施支援も行っている。

Q 農業担い手確保に向けたビジョンと新たな取組は。

A 1月に初開催した「新規就農応援ツアー」は、市外からの移住者を含め、農業に関心を持つ参加者に本市の魅力を伝え、就農への一歩を踏み出していくための有意義

な取組であった。令和9年度策定予定の農業振興ビジョンでは、担い手確保の重要な柱として位置づけていく。

空き家の現状と今後の対応

Q 本市で把握している空き家の件数と相談等の状況は。

A 把握する空き家は536件に上り、喫緊の課題である。空き家に関する市民からの相談も年々増加しており、問題の深刻化がうかがえる。

Q 国や県の補助制度の有無や活用状況は。

A 本市は「空家等対策計画」が未策定のため、国や県の補助制度を十分に活用できていない。早急に策定し、国の補助金を活用した実態調査、危険空き家の解体、利活用促進等を加速させていく。空き家問題の解決、市民の安全・安心な暮らし、地域活性化に取り組んでいく。



無所属

石川 まゆみ 議員



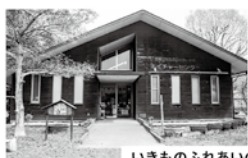
詳細はスマホで
チェック!



公共施設使用料の適正化と地域活性化に向けた柔軟な運用について

Q 市ホームページに新料金表が掲載されているが、無料で貸出可能な施設や部屋の一覧がない。市民への透明性を高めるため、無料施設や無料利用条件の一覧表を市ホームページで新たに公表する考えはないか。

A 広く市民が利用できるよう、施設を所管する担当部局と



調整し、有料施設だけでなく、無料で利用可能な施設やその利用条件についても、市ホームページに一覧表として掲載するよう修正していく。掲載時期については、令和8年度の早い段階を予定している。

誰もが幸せに感じる社会のために必要な教育と、自立するためのすべについて

Q ひきこもりで悩む本人や家族が相談する場合、どこが窓口となるか。また、庁内連携体制はどのようなか。

A 複数の困り事がある場合は、市役所会議棟1階に開設する「つながりの輪サポートステーション(つなサポ)」が、困りごとに関係した支援機関につないでいく。ひきこもり者の支援については、コンパス、らぼっと、地域包括、つなサポなどがつながりの輪支えあい事業の中で連携協働して、伴走型支援を心掛けていきたいと考えている。

その他の質問

・中長期ビザで滞在中の外国人の中に1年以内で出国する場合もあるが、その場合、住民税の課税及び徴収はどのように行っているか。

一般質問 Q & A

立憲民主党西尾

細井 まゆみ 議員



詳細はスマホで
チェック!



放置自転車の対応について

Q 現在、本市の放置自転車は何台あるか。

A 放置自転車の台数は、令和6年度の回収実績で284台である。

Q 放置自転車の処理方法はどのようなか。

A まず、予備調査札を貼り付ける。

その約1週間後に、予備調査札が外されていない自転車等に本調査札を設置する。2週間経過



しても、本調査札が外されていない自転車等を放置自転車とみなし、一時保管所に撤去する。その後、警察への防犯登録番号の照会等を行い、所有者を特定し、引取りを依頼する旨を通知するとともに告示を行う。

告示後、60日間の引取り期間を過ぎても引取りされない自転車等についてはクリーンセンターに搬入している。

Q リサイクルしている台数とその販売方法は。

A リサイクルプラザで販売した自転車は、令和6年度の実績は90台である。販売方法については、入札形式である。

Q 入札による販売でのおおよその落札価格は。

A リサイクルプラザで販売している自転車の車種については多岐にわたり、令和6年度実績で最低2,510円から最高3万8,500円まで幅があり、平均で約1万7千円である。

Q 市が回収した放置自転車をリサイクルする仕組みを考えないか。

A 環境負担軽減やSDGsの観点からも意義のあるものであることから、本市で同様の取組が実施できるか否か、調査・検討を進めていく。

無所属

杉浦 こうき 議員



詳細はスマホで
チェック!



にしおマラソンの現状分析と今後の在り方は

Q 市の関係業務の多くは最低賃金1,140円。一方、マラソン委託事業者が更に外部委託して集めた業務従事者には、時給換算1,882円という高給が支払われた。それを鑑みれば委託費はかなり割高設定だと推察できる。事業者に丸投げせず、委託費の精査を厳格化すれば大幅に抑制できるのではないか。

A 時給単価は適切に事業者が設定していると考え。大会運営費を安価に抑えることは容易でないが、知恵を絞り「経費削減」に努める。

Q 参考にした佐倉市はフルマラソンなのに実行委員会への補助金は僅か75万円。創意工夫でコストを抑えている

自治体から学ぶべきではないか。

A 置かれている環境も異なるが、参考にできる部分は取り入れ「経費削減」に努める。

Q にしおマラソンは参加者8千人で市の支出1.2億円。その前身・一色マラソン（ハーフ）は4,200人で130万円。レガシーを引き継いだというものの、ボランティア中心にコストを抑えていた元々の姿は見えない。「経費削減」と口先で言うだけでなく、数値目標を設定し、実際に削減すべきだが、市長、それでよいか。

A レガシーは沿道の声援。それはそれとして、持続的な開催は予算的に今のままでは無理だと思う。一般財源の縮減は数値目標を持たせて取り組んでいく。



その他の質問

・自治体によるスポーツチーム支援の意義や正当性について

¥ 予算審査

令和8年度当初予算と事業に関する審査

予算とは地方公共団体の収入や支出の見積りで、行政サービスの内容を示す重要な計画です。3月定例会の3月2日に令和8年度当初予算が議案上程され、審議されました。その当初予算案は、予算決算委員会に付託されました。その後4つの分科会に付託され、詳細に令和8年度予算や事業について審査を行いました。ここでは、主な審査内容についてピックアップしてご紹介します。

企画総務分科会

Q 老朽化が進む消防団詰所の維持管理状況は。

A 最も古い施設は築55年を経過するものがあり施設の老朽化は確認している。修繕については過去の実績から予算書に計上してある施設修繕料、基本団1カ所8万円が12カ所、機能別団1カ所5千円が35カ所の計113万5千円の中から随時、実施していく。

Q 災害対応システムの詳細は。

A 災害発生時に市役所内の関係部署が連携し、正確な情報を迅速に共有・活用するための基盤となる。主な機能は気象庁のデータや国土交通省の河川情報、監視カメラの映像等をリアルタイムで一元的に集約・管理し、多岐に渡る気象・災害関連情報を1つのシステムで把握できるようになる。集約された気象情報や災害状況に基づき、適切なタイミングで避難情報の発令判断を支援する機能がある。



厚生環境分科会

Q 医師が昨年度から1名減となっているにも関わらず、医業収益が3億円伸びている理由は。

A 入院患者の増加実績などから収益を見込んでいる。整形外科において、脊椎圧迫骨折手術に対応する体制を整えたことや、ロボット支援手術の対象症例を広げるなど、収益増に向けた動きを加速させているため。

Q つながりの輪支えあい事業支援業務委託料の委託内容の詳細は。

A ①「大人の引きこもり支援」で、西尾市総合福祉センター3階に開設する「つながりルームらぽっと」を拠点に、8050問題など幅広い支援を目指す。②「Kokoroつながりサポート」で、精神障がい者の専門職が同行し、当事者と家族のニーズ把握や支援方針等の助言を受ける。③「主に未就園の親子のこころほっとするスポット」で、児童発達支援の専門職が保護者に寄り添い、適切な助言や情報提供を行う。④「市民ボランティアによる残置物処分」で、生活困窮者等により、自分では家屋や敷地内の不要な物を処分できない方に、清掃や片づけによる環境改善を行う。



経済建設分科会

Q イノシシなど鳥獣被害対策の進め方は。

A 防護柵設置への支援や狩猟免許取得支援、捕獲活動への支援を重点的に進めていく。防護柵設置は費用の3分の2にあたる1平方メートル当たり800円、狩猟免許取得費用は2分の1で上限2万8千円、イノシシの捕獲活動に必要な燃料費の一部として1頭当たり2千円を補助する計画である。



イノシシ捕獲のわなの設置

Q 多文化共生推進事業委託料の詳細は。

A 多文化共生キーパーソン発掘・連携事業は、登録制度の創設に向けた検討を進め、令和9年度からの運用を目指していく。

Q (仮称)雨水対策マスタープラン策定事業で公共施設に地下貯留施設の設置を検討しないか。

A 被害軽減につながる対策を広範囲に検討していくので、公共施設における地下貯留施設なども検討の対象となる。

文教交流分科会

Q こども家庭センター運営事業の効果の見通しはどのようか。

A こども家庭センターでは、相談記録を一元管理するシステムを導入し、関係職員間で情報共有を図ることで、スムーズな支援が可能となる。また、訪問支援員の役割や支援内容を整理したことで、訪問支援の質の向上につながる。育児負担の軽減や虐待リスクの把握・対応についても、より適切な支援につながることを期待している。



Q 西尾城大手門跡整備について、工事請負費の内訳と、完成までのスケジュール、また整備によってどのような成果が見込まれるのか。

A 西尾城大手門跡整備では、敷地整備に約7,500万円、土堀や土塁などの史跡整備に約3千万円、給排水設備や照明・解説板などの付帯設備に約4千万円を見込んでいる。工事は令和8年6月頃に入札・契約を行い、年度末の完成を目指す。整備後は、歴史公園だけでなく、城下町エリアや岩瀬文庫まで足を運んでもらえることが期待され、西尾城の魅力向上を図ることで、歴史ファンの来場者数増加が見込まれる。



審議結果

01 / 2月臨時会(2月10日)で審議され可決された議案

条例など	専決処分の承認について
補正予算	令和7年度西尾市一般会計補正予算(第9号)

02 / 3月定例会で審議され可決された議案等

★副市長に、西尾隆治氏、杉谷正樹氏を選任することに同意しました。

条例など	西尾市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
	西尾市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
	西尾市勤労会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市佐久島海浜広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市子どものための教育・保育に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市子育て・多世代交流プラザの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市障害者扶助料支給条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市老人の家の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市高齢者交流広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市幡豆いきいきセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市一色老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市民げんきプラザの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市斎場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾いきものふれあいの里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市渡船事業運航に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市文化会館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市文化交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市消防長及び消防署長の資格を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
	市道路線の認定について
	辺地総合整備計画の変更について
	西尾市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の特例を定める条例の制定について
	西尾市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の特例を定める条例の制定について
西尾市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	
工事請負契約について	
西尾市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の特例を定める条例の制定について	

補正予算	令和7年度西尾市一般会計補正予算(第10号)
	令和7年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
	令和7年度西尾市介護保険特別会計補正予算(第4号)
	令和7年度西尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	令和7年度西尾市病院事業会計補正予算(第1号)
	令和7年度西尾市水道事業会計補正予算(第1号)
	令和7年度西尾市下水道事業会計補正予算(第1号)
	令和7年度西尾市一般会計補正予算(第11号)

令和8年度 当初予算	令和8年度西尾市一般会計予算
	令和8年度西尾市国民健康保険特別会計予算
	令和8年度西尾市介護保険特別会計予算
	令和8年度西尾市後期高齢者医療特別会計予算
	令和8年度西尾市佐久島診療所事業特別会計予算
	令和8年度西尾市病院事業会計予算
	令和8年度西尾市水道事業会計予算
	令和8年度西尾市下水道事業会計予算
	令和8年度西尾市渡船事業会計予算
	令和8年度西尾市一般会計補正予算(第1号)
	令和8年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
令和8年度西尾市介護保険特別会計補正予算(第1号)	

03 / 3月定例会に提出された陳情書

陳情書	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	議長預かり
	故意に入れない限り入らないS V40プロモーター配列がファイザー製新型コロナワクチンに混入していた事を発表しない日本政府に対し西尾市がやるべき対応	不採択



審議結果

04 / 議員の賛否の分かれた議案等

3月定例会へ提出された議案のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

議案名	議決結果	会派・議員名、表決態度																												
		みらい創政会						新しい風						公明党		共産党		無所属												
		松井晋一郎	本郷照代	青山繁	磯部雅弘	藤井基夫	中村なおゆき	山本道代	藤田秀徳	大須賀竜也	松崎隆治	中根志信	中根文彦	小林孝幸	福西あきひと	牧之心	牧博之	渡辺将司	大塚久美子	山本栄児	前田修	くろの拓海	山市志保	細井まゆみ	神田たかひろ	筒井登	中村眞一	ささきえみ	杉浦こうき	岩下一隆
西尾市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
西尾市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	
西尾市障害者扶助料支給条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×
西尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×
西尾市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
西尾市農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
西尾市渡船事業運航に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	
令和7年度西尾市一般会計補正予算(第10号)(修正案)	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	
令和7年度西尾市一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	×
令和8年度西尾市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	×
令和8年度西尾市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和8年度西尾市介護保険特別会計予算	可決	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和8年度西尾市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和8年度西尾市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和8年度西尾市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×
西尾市副市長の選任の同意について(杉谷正樹)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	×
西尾市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の特例を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	
西尾市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の特例を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	
西尾市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度西尾市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×
令和8年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×
令和8年度西尾市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×
西尾市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の特例を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	

「○」…賛成(採択) 「×」…反対(不採択) 「※」…議長のため採決に加わりません。



去る3月定例会では、多くの議案について審議を行いました。令和8年度予算では、厳しい財政状況の中、本市では新たに「枠配分方式」を導入し、限られた財源をより効果的に活用する取組が始まりました。議会においても、子育てや教育、暮らしを支える基盤整備など市民生活に関わる施策について活発な議論が交わされました。

今後も議会の役割を果たしながら、審議内容や活動を分かりやすくお伝えし、市民の皆様にも身近で開かれた議会を目指してまいります。

どうぞよろしくお祈りします。

広報委員

- ◎中根 志信 ○山本 道代
 - 山市 志保 大須賀竜也
 - 細井まゆみ 神田たかひろ
 - 岩下 一隆 山本 栄児
 - 福西あきひと 前田 修
- (◎委員長 ○副委員長)

西尾市議会 広報委員会

電話 65 - 2182
FAX 54 - 0311

※代表質問・一般質問の記事は、質問議員から提出された原稿をもとに作成しています。

お知らせ

次回6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/24	25	26	27	28 議会運営 委員会	29	30
31	6/1	2 本会議 予算決算 委員会	3 本会議	4 本会議	5 本会議 (予備日)	6
7	8	9	10	11 企画総務 委員会 ・分科会	12 厚生環境 委員会 ・分科会	13
14	15 経済建設 委員会 ・分科会	16 文教交流 委員会 ・分科会	17	18 予算決算 委員会	19 議会運営 委員会	20
21	22	23	24 本会議	25	26	27

会議は通常 10 時開会です。

※予定は変更になる場合があります。

令和7年度議会報告会を開催しました

市民に開かれたわかりやすい議会を実現するため、議会が議会活動の状況を市民の皆様へ直接報告・説明する議会報告会を令和8年1月15日(木)に開催しました。

第1部では視察報告及び常任委員会でテーマを設定した報告が行われ、第2部では質疑応答、意見交換を行いました。

令和8年5月9日(土)に、令和8年度議会報告会を開催します。お気軽にご参加ください。



資料やアンケート結果等は
こちらからご覧ください



議場見学をしませんか？

町内会などの行事、ご家族、ご友人同士でお誘いあわせの上、お気軽にお越しください。詳しくは、議会事務局(Tel.65-2182)へお問い合わせください。



議会を見る

放送チャンネル
ケーブルテレビ「キャッチネットワーク」
地上デジタル 112ch

日時

6月 8日(月) (6月3日一般質問)

6月10日(水) (6月4日一般質問)

6月25日(木) (6月5日予備日)

※いずれも10時からです。

※放送日時は変更になる場合があります。

インターネットで議会を見てみよう！

市ホームページまたは
右のコードで閲覧できます。



議会を聴く

西尾市議会は、『開かれた議会』を目指し、議会を公開しています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に議会事務局(6階)までお越しください。

- ・議場での傍聴………本会議
- ・委員会室での傍聴………常任委員会、議会運営委員会、全員協議会、部会

音訳版・点字版のにしお市議会だより

目が不自由な方などのために、音訳版・点字版のにしお市議会だよりを作成し、お渡ししています。希望者は市社会福祉協議会へお問い合わせください。音訳版は市ホームページで公開しています。

市社会福祉協議会 (☎56・5900/総合福祉センター内)
福祉課 (☎65・2113)